

CPU: Intel Atom CE5335 (1.6GHz)
 ●メモリ: DDR3 SDRAM 1GB ●ドライブベイ: 2 (3.5/2.5インチ Serial ATA 3.0) ●最大容量: 16TB (8TB×2) ●インターフェース: USB 3.0×2, USB 2.0×1, eSATA×1, 50メモリーカード×1 ●ネットワーク: 1000BASE-T×1 ●本体サイズ (W×D×H): 108×233.2×165mm ●重量: 1.265kg

Synology DiskStation DS214play

実売価格: 45,000円前後



ハードウェアトランスコード対応でスマホでも動画が快適に!



ネジ止め不要の独自機構

2台のHDDを搭載可能。HDDトレイはネジ止め不要の独自機構が採用されており、着脱が簡単。2.5インチHDDも装着できる (要ネジ止め)



デスクトップタイプの管理画面

管理画面はデスクトップOSのようなデザイン。管理だけでなく、ファイルの閲覧や動画の再生など、ここからさまざまな機能を利用できる

Synology「DiskStation DS214play」は、最大で2台のHDDを搭載できるコンパクトなNASキットだ。NASはデータの保管庫というイメージが強いが、本製品は「play」と名付けられていることから分かる通り、単なる保管庫ではなく、写真、音楽、動画などのマルチメディアコンテンツをさまざまな方法で楽しめるように作られている。

まず、基本的なハードウェア構成だが、搭載可能なHDDは2台で、本体前面のパネルを外すと二つのトレイが姿を現わす。トレイへのHDDの固定はネジを使わない仕組みなので、NAS初心者でも迷うことはない。

CPUはデュアルコアのIntel Atom CE5335 (1.6GHz)。少々もの足りない印象を持つ人もいるかもしれないが、Synologyの製品はソフトウェアのチューニングが秀逸で、このクラスのCPUでも処理性能はかなり優秀。

RAID 1構成のNASではライトが遅くなる傾向があるが、本製品はシーケンシャルのリード、ライトともに100MB/sを軽く超える。

インターフェースはUSB 3.0×2に加えてeSATAも搭載し、拡張性は十分。コンパクトながら中身の充実した製品である。

消費電力

HDD休止時	アイドル時	高負荷時
12W	22W	25W

HDDハイバネーションを活用しよう

消費電力は通常時22Wで、ベンチ実行時もほぼ変わらず25W。標準ではOFFになっている「HDDハイバネーション」を有効化すると、10W近くまで下げることができる

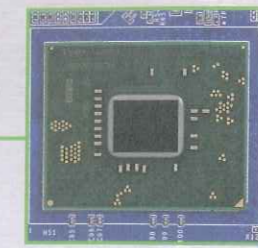
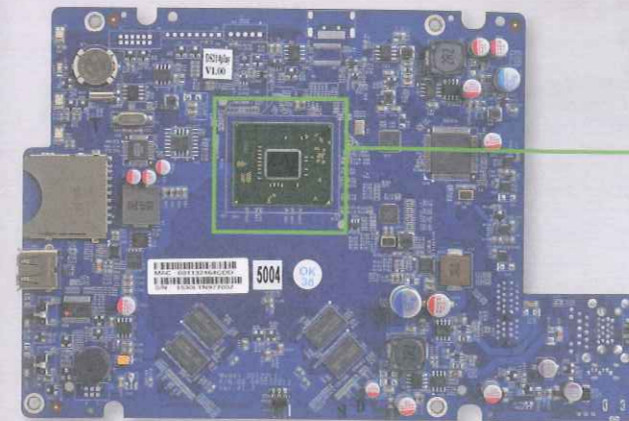
CrytalDiskMark 4.0.3 x64

	Read [MB/s]	Write [MB/s]
All	116.8	116.1
Seq Q32T1	116.8	116.1
4K Q32T1	2.822	9.052
Seq	88.08	103.2
4K	2.707	8.112

小型ながら高いパフォーマンス

シーケンシャルで100MB/s越えをマークしており、パフォーマンスは優秀。2ベイNASの中でもトップレベルの性能を誇る

ハードウェアトランスコードの実力を検証



Atom CE5335を搭載

DS214playには、デュアルコアで低消費電力、NAS向けにデザインされたIntelのSoCが採用されている



DLNAサーバーとして家中で使える

保存した動画ファイルをフルHD (1080p) にトランスコードして、さまざまなデバイスへ配信できる。変換時のCPU負荷が低いので、データ保存などの処理を並行して行ってもストレスがない

最大の特徴でもあるマルチメディア機能の完成度も高い。

初期設定時にインストールされるDLNAサーバー機能によって、保存した写真、音楽、動画のデータは、複雑な設定をすることなくネットワーク経由で家庭用のテレビやゲーム機などのDLNAクライアントで再生できるようになる。iTunes Server機能を追加することで、PC/MacのiTunesで、NASに保存した楽曲を再生することもできる。

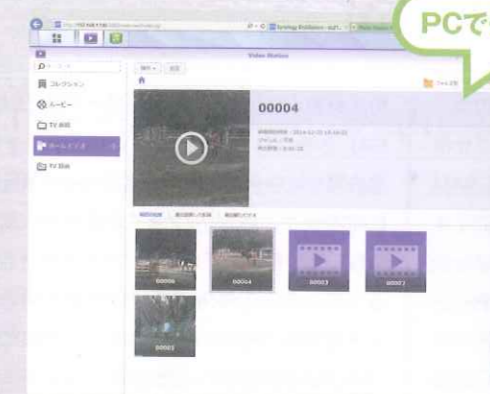
特筆すべきは、動画のトランスコード機能だ。本製品にはハードウェアエンジンが搭載されており、1080pのフルHD動画を高品質で、しかも低負荷で変換することができる。

たとえば、ビデオカメラで撮影した動画をスマートホンで再生する際、動画形式が対応していないなどの理由で読み込めないことがあるが、Synologyのスマートホン向けのアプリ「DS video」を利用することで、自動的にスマートホン向けにトランスコードされた動画を見られるようになる。

このときのCPU負荷も低い。ハードウェアトランスコード非対応のモデルでは、より低い品質の720p変換しかできない上、60%以上のCPU負荷が常にかかるのに対して、DS214playでは1080pの変換で30%ほどの負荷に抑えられている。

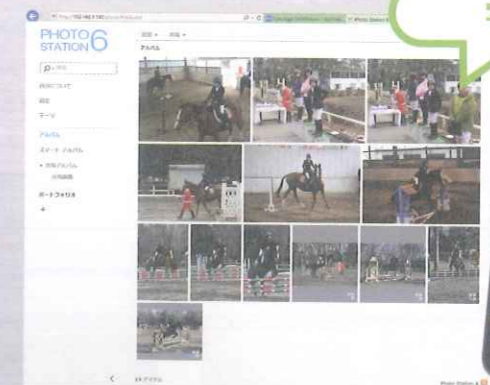
Apple TVやChromecastへの配信にも対応しており、スマートホンをリモコン代わりに、テレビで動画を楽しむこともできる。データ保存だけでなく、積極的にコンテンツを楽しみたい人向けのNASと言えるだろう。

PCでもスマホでも動画を楽しめる



PCでは管理画面から「Video Station」にアクセスすることで、スマートホンでは「DSvideo」アプリを使うことで動画を再生できる

写真や音楽も楽しめる



写真や音楽も同様にPC、スマートホンの両方で楽しむことができる。写真は「Photo Station」と「DSphoto」、音楽は「Audio Station」と「DSaudio」が用意されている。自分専用のクラウド環境として活用したい

Apple TVやChromecastとも連携



Apple TVやChromecastを利用すれば、スマートホンをコントローラにして、NAS上の動画を家庭用のテレビで楽しめる